

令和2年度版 宇部市の施策について（要望）

【重点要望】

- ① コロナ禍の社会的・経済的影響が長引いていることから、中小企業・小規模事業者の経営状況は悪化したままであり、未だ改善の兆しは見ておりません。
このような状況を踏まえ、中小企業・小規模事業者に対するこれまでの支援策の拡充ならびに新たな支援策の追加について、国の交付金のみならず市の自主財源を思い切って活用し、長期的な観点に立った施策をお願いしたい。＜新規＞
- ② 「宇部市トキスマにぎわい交流館条例案」が否決されたことにより中心市街地の活性化が停滞し、地域経済の更なる悪化が懸念されます。
疲弊した中心市街地に賑わいを取り戻し、民間投資を呼び込むためには「賑わいの拠点づくり」が必要となることから、旧山口井筒屋宇部店跡地の活用について早急に検討し、方針を示して頂きたい。＜新規＞
- ③ 令和2年3月に内閣府の認定を受けた「宇部市中心市街地活性化基本計画」を着実に実行し早期に成果をあげていくためには、平成28年4月に宇部市と商工会議所が出資をして設立した都市再生推進法人である「株式会社にぎわい宇部」の役割が大変重要です。
しかしながら、「株式会社にぎわい宇部」は設立当初予定していた経営的自走が道半ばの状況にあるため、今後も従来と同様な支援をお願いしたい。＜新規＞

【新型コロナウイルス対策】

- ① コロナ禍により大きく落ち込んだ消費を喚起させるため、市独自のプレミアム付き商品券の発行をお願いしたい。＜新規＞
- ② 経営者、従業員等の安全・安心を確保し、経済活動を停滞させないためにも医療機関との連携を一層強化し、有償でも希望者全員が市内でPCR検査が受けられる体制を構築して頂きたい。＜新規＞
- ③ アフターコロナを見据え、事業（業態）転換に取り組む中小企業・小規模事業者への支援策を業種・事業エリアを問わず講じて頂きたい。＜新規＞
- ④ コロナ禍の影響により中小企業・小規模事業者の廃業・休業がより加速する懸念があることから、事業承継対策事業を積極的に進めて頂きたい。＜継続・一部変更＞

【地域経済活性化の推進】

- ① 中心市街地における再開発事業を促進させるため、中心市街地における小規模の土地（300㎡以上1,000㎡未満）開発に対する補助制度の拡充をお願いしたい。
＜継続・一部変更＞

- ② 中心市街地にある空き店舗の利活用を促進させるため、改装費に対する補助制度の拡充をお願いしたい。<継続・一部変更>
- ③ まちなかの賑わい創出のため、商店街が自発的に取り組む集客イベント事業への更なる支援をお願いしたい。<継続>
- ④ 宇部市の三大大行事である新川まつり、花火大会、宇部まつりに対する財政面での更なる支援をお願いしたい。<継続>
- ⑤ 事業資金融資制度の活用を促進させるため、山口県の小規模企業支援資金と同様に融資限度額（普通資金）を1,500万円から2,000万円へ引き上げをお願いしたい。
<新規>
- ⑥ 自然災害が少なく、空港・港湾・道路等の社会インフラや大学等の学術研究機関が充実している宇部市の特性をもっと積極的にPRし、IT系企業等業種の幅を広げた企業誘致に注力して頂きたい。<継続・一部変更>
- ⑦ 国が定めた「発注関係事務の運用に関する指針」を踏まえ市が策定した「宇部市建設工事に関する公契約指針」の運用について、入札・契約・発注関係事務等に関する問題点・課題等を事業者から徴収し、適宜適切に改善を行って頂きたい。<新規>
- ⑧ 公共工事における工事写真の納品について、事業者の手間（写真のファイリング・インデックスの貼付け等）を省くためにもデータ納品（JPEG、PDF等）を可能として頂きたい。<新規>
- ⑨ 宇部港の活性化を図るため、公共埠頭・公共岸壁の整備拡充・補修、県営宇部ポートビル（通船待合室）の環境改善、危険貨物用倉庫の新設・危険物コンテナ蔵置場の増設を山口県等関係官庁と協議をして進めて頂きたい。<継続・一部変更>
- ⑩ ときわ公園の来園者（市外）が中心市街地や北部地域へと流れる周遊ルートをつくり、市内全域に経済効果が及ぶ仕組みを構築して頂きたい。<新規>
- ⑪ 交流人口を増やし地域経済を活性化させるため、市制100周年を契機に宇部市のブランディング戦略を再構築し、新たな宇部のイメージをYouTubeなどのSNSを活用し積極的に情報発信して頂きたい。<新規>